

2026年2月24日

komatsumateRe

製品染め新ブランド『TINTORIANA®』を発表

～サステナブルなソリューションの提案、製品染めの新常識～



小松マテール株式会社（本社：石川県能美市、代表取締役社長：中山 大輔）は、長年培ってきた製品染め技術を事業ソリューションとして再定義し、新たなブランド「TINTORIANA®」として展開いたします。当社の新たな取り組みは、環境負荷を低減し高付加価値なものづくりを両立させる一環として、この新ブランド発表を皮切りにさらに加速させてまいります。

■ 「TINTORIANA®」発表の意義

これまで当社は「ガメダイ®」として製品染めブランドを拡大してまいりました。さらなるサステナブルなものづくりを追求する中で、製品染めの持つ様々な表情や独特の風合いなどの付加価値にとどまらず、製品染めならではの細かなニーズに対応できる長所にも注目しました。製品染めとすることで、店頭在庫をはじめ在庫リスクを軽減させ廃棄削減につながるなど、多くのアドバンテージが期待されます。

また、製品染め分野では世界のリーディングカンパニーとも言われるイタリアの「ティントリア・エミリアーナ社」と当社は、2002年以來継続的に技術交流を重ねており、このたび、両社による独自の素材開発と後加工技術の融合により、高い次元で製品染めの独特の表情感・風合い・色彩表現を発揮させることに成功しました。

当社は新ブランド「TINTORIANA®」を通して「必要な分だけを染め、作り過ぎず、捨てることを前提としない」という製品染めの新常識を提示し、環境に配慮するサステナブルなソリューションを提案してまいります。

■ ブランドロゴ

TINTORIANA

■ 当社独自の多彩な技術加工群

先月開催された世界最高峰の生地見本市「ミラノウニカ展」で高い評価を頂いた“ROCK VINTAGE”、“DIGO VINTAGE”を中心に、意匠染めや無縫製など多彩な独自の技術加工群を展開してまいります。

ROCK VINTAGE

製品染め特有の強い白化感と立体感のあるピンテージ表現を実現。環境負荷の少ない薬品のみで加工し、着古したような自然な風合いと奥行き感を両立させた代表シリーズ

※2025年、社内の製販一体型素材開発コンペ「Re-Creation」にて誕生

DIGO VINTAGE

製品染め×リサイクルインディゴによる合繊素材のインディゴ染め。素材・染料・加工の3要素で環境配慮を徹底し、従来の合繊染色を超える深みと個性を表現

TIC NATURALE

化学素材専門の当社が製品染めで実現する天然素材風加工。独自改質加工（塩縮・シワ塩縮・縮絨）と撥水機能で、デニムや吊り編みニット風の質感を工業生産レベルで再現

このほかにも、製品染め用晒の豊富なバリエーションや染め替え技術の提案を行います。

■ 用途展開

ファッション衣料・スポーツ衣料・インテリア・ライフスタイル製品

■ 販売計画

2026年度 3億円
2028年度 5億円
2030年度 10億円

■ 今後の展開

「TINTORIANA®」は、2026年2月24日より開催予定の「製品染め展示会」を皮切りに順次展開してまいります。当社では今後、製品染めにおける多様な可能性とサステナブルなビジネスモデルを発信するとともに、様々な分野にて幅広い用途展開を進め、新ブランドとしての認知向上と事業拡大を目指します。

■参考情報

<製品染め展示会>

会期：2026年2月24日（火）～2026年3月10日（火）

時間：平日 10:00～18:00

場所：小松マテレー株式会社 青山ショールーム

東京都港区南青山5丁目11番22号 テラス南青山1階・2階

本展示会では、製品染め技術を単なる加工技術ではなく、持続可能で柔軟なものづくりの事業ソリューションとして市場に提示します。当社の製品染めは、主に合繊素材を中心に独自の染色技術と改質・機能加工を組み合わせ、現代のものづくりに最適化してきました。原反染めでは表現困難な「深く豊かな陰影」「五感に響く質感」「ステッチ一本に表情が宿る立体感」を実現しています。展示会ではこれらをカテゴリー別に整理し、各加工技術の特徴や表現の違いを実際の素材で体感いただける構成となっております。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

小松マテレー株式会社 総務部 広報課 TEL：0761-55-8070 / FAX：0761-55-8101